

平成 19 年度

航空局関係補正予算配分概要

目 次

I. 平成19年度航空局関係補正予算配分方針	1
II. 平成19年度補正予算配分総括表	2
III. 事業別概要	3
IV. 都道府県別等配分額	4
V. 配分箇所具体事例	5

平成20年2月

(様式2)

I. 平成19年度航空局関係補正予算配分方針(案)

- 台風による記録的な大雨等自然災害の発生により空港施設が被災したことを踏まえ、再度災害防止を図るため、空港の排水系統の機能向上を実施する。
また、西日本地区の落雷の危険性がある空港において、悪天候時の地上作業員の安全を確保及び航空保安施設の被災防止のための落雷対策を実施する。
- 積雪寒冷地域等地域の状況に配慮しつつ、ゼロ国債による公共事業の円滑かつ効率的な執行を図る。

1. 災害等防止関係

事業費 1, 234百万円、国費 1, 095百万円
(空整特会歳出 1, 234百万円)

○被災した空港等の排水系統の機能向上

- ・平成19年9月の台風等の大雨により、空港の誘導路や空港周辺に雨水が流出し浸水の被害が発生したため、釧路空港外4空港の排水系統の機能向上の実施。

○落雷の実績のある西日本地区の空港における落雷対策

- ・エプロンでの地上作業員の安全確保するため、福岡空港におけるエプロン上へのグランドアースリング設置。
- ・落雷により無線施設の再度被災防止するため、広島空港外3空港における無線施設の落雷対策の実施。

2. 国庫債務負担行為(ゼロ国債)

事業費 2, 120百万円

公共事業の発注平準化措置として、いわゆるゼロ国債により効率的な執行を促進する。

(様式 3)

Ⅱ. 平成19年度補正予算配分総括表

[総事業費]

(単位：百万円)

区 分	緊急防災			ゼロ国債			合 計		
	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計
空港整備事業									
直 轄	1,234	0	1,234	2,090	0	2,090	3,324	0	3,324
補 助	0	0	0	30	0	30	30	0	30
合 計	1,234	0	1,234	2,120	0	2,120	3,354	0	3,354
直 轄	1,234	0	1,234	2,090	0	2,090	3,324	0	3,324
補 助	0	0	0	30	0	30	30	0	30

(注)総事業費ベースである。

(様 式 4)

Ⅲ. 事 業 別 概 要

(百万円)

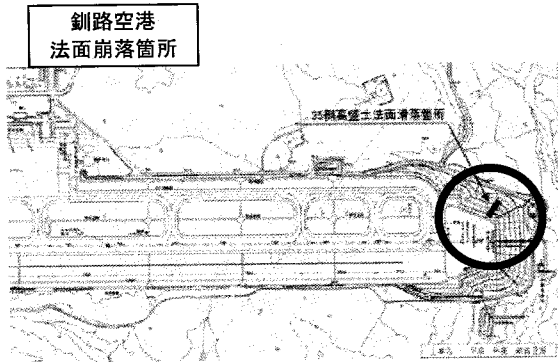
1. 災害等防止関係

事業費 1,234、国費 1,095

○被災した空港の排水系統の機能向上

事業費 711、国費 602

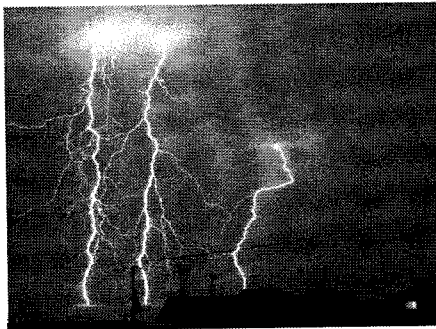
排水機能強化を実施、崩落防止対策の実施



○落雷実績のある西日本地区の空港における落雷対策

事業費 523、国費 493

エプロン及び無線施設の避雷用設備整備を実施



2. ゼロ国債

事業費 2,120、国費 1,881

○東京国際空港、那覇空港の整備

事業費 1,117、国費 1,085

エプロン改良の整備の実施



(様式 5)

(様式 6)

V. 配分箇所の具体事例

1. 緊急防災

都道府県名	箇所名	配分額 百万円	事業概要
東京航空局 (管内)	釧路空港	100	高盛土法面強化
大阪航空局 (管内)	広島空港	152	排水機能強化、避重用設備整備(無線施設)
	福岡空港	411	排水機能強化、避重用設備整備(エプロン・無線施設)
	宮崎空港	101	排水機能強化
	鹿児島空港	105	避重用設備整備(無線施設)
	那覇空港	365	排水機能強化、避重用設備整備(無線施設)

2. ゼロ国債

都道府県名	箇所名	配分額 百万円	事業概要
東京航空局 (管内)	東京国際空港	480	エプロン改良
	新潟空港	362	進入灯橋梁改良
	稚内空港	611	滑走路改良(用地造成)
大阪航空局 (管内)	那覇空港	637	エプロン改良
北海道	女満別空港	30	ILS双方向化(用地造成)